

観光入込客の動向

(1) 概況

平成16年の本県の観光入込客は、94,075千人で、前年から822千人増え(0.9%増)、入込客数では前回に引き続き過去最高となった。本県の入込客は、伸び率に鈍化はみられるものの、平成3年から連続して増えている。

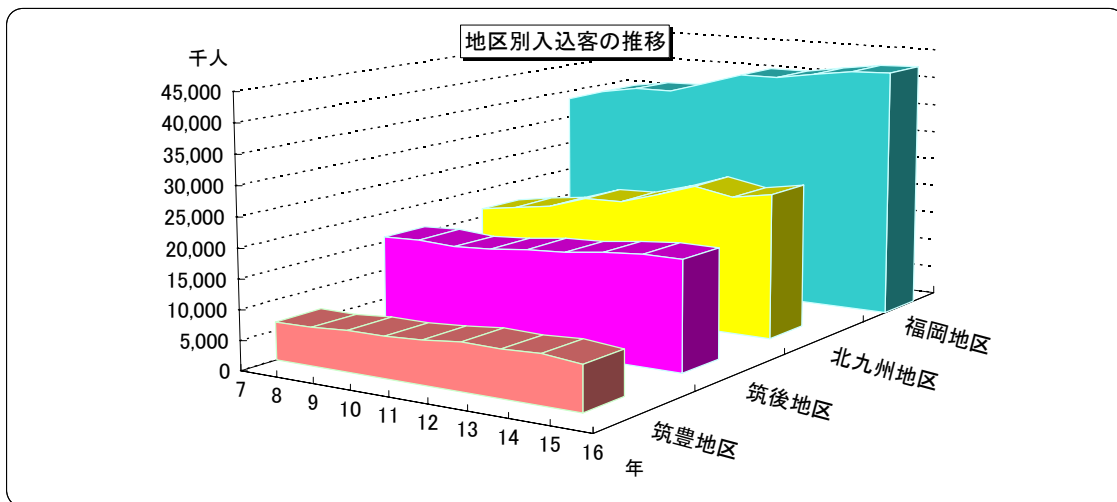
日帰り・宿泊別にみると、日帰り客は、対前年比1.3%増の85,305千人、宿泊客は、3.3%減の8,770千人となった。また、県内・県外別では、県内入込客が2.3%減の64,824千人、県外客については8.8%増の29,251千人となった。

県内の地区別入込客は、福岡地区42,801千人(対前年比237千人増:0.6%増)、筑後地区19,235千人(対前年比749千人増:4.1%増)、筑豊地区7,792千人(対前年比290千人増:3.9%増)、北九州地区24,247千人(対前年比454千人減:1.8%減)となっている。北九州地区は減少は減少、その他の福岡地区、筑後地区、筑豊地区は増加した。

(最近10年間の地区別入込客数の推計)

(千人)

	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
福岡地区	33,516	35,364	36,464	36,539	38,461	40,505	40,524	41,664	42,564	42,801
筑後地区	15,866	16,111	15,724	16,111	16,883	17,219	18,002	18,577	18,486	19,235
筑豊地区	6,408	6,437	6,899	6,912	7,307	7,935	7,786	8,088	7,502	7,792
北九州地区	16,429	17,457	18,350	20,486	20,687	22,569	24,794	23,637	24,701	24,247
合計	72,219	75,369	77,437	80,048	83,338	88,228	91,106	91,966	93,253	94,075



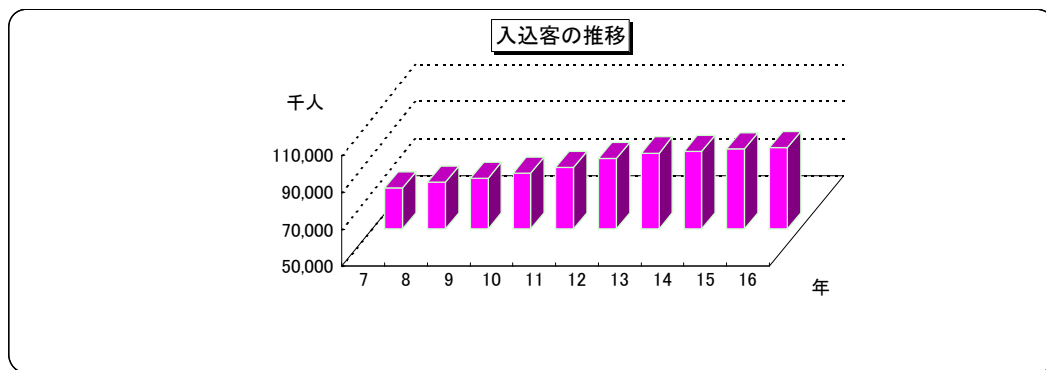
県内の主な観光関連施設の状況は利用者の多い順に、

- ① ホークスタウン(福岡市) 19,040千人(対前年比 1,060千人減: 5.3%減)
 - * 福岡ドーム(福岡市) 8,800千人(対前年比 700千人減: 7.3%減)
- ② キャナルシティ博多(福岡市) 12,610千人(対前年比 390千人減: 3.0%減)
- ③ 博多リバレイン(福岡市) 7,383千人(対前年比 331千人増: 4.7%増)
- ④ マリノアシティピアアウオーク(福岡市) 5,600千人(対前年比 300千人増: 5.7%増)
- ⑤ ベイサイドプレイス博多埠頭(福岡市) 3,016千人(対前年比 165千人減: 9.5%減)
- ⑥ 門司港レトロ地区(北九州市) 2,309千人(対前年比 241千人減: 9.4%減)
- ⑦ スペースワールド地区(北九州市) 2,087千人(対前年比 216千人減: 9.4%減) となっている。

(2) 観光入込客の推移

(単位:千人)

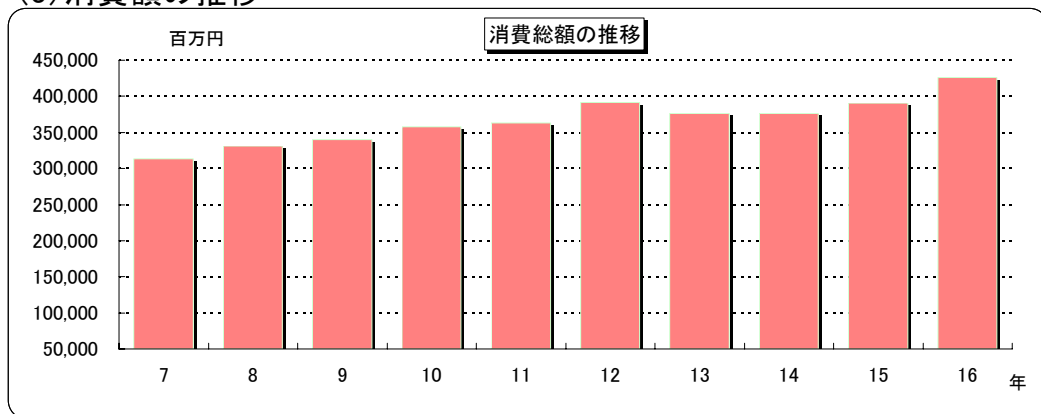
	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
総数	72,219	75,369	77,437	80,048	83,338	88,228	91,106	91,966	93,253	94,075
対前年比	101.9%	104.4%	102.7%	103.4%	104.1%	105.9%	103.3%	100.9%	101.4%	100.9%
指数	100.0%	104.4%	107.2%	110.8%	115.4%	122.2%	126.2%	127.3%	129.1%	130.3%



平成16年の観光入込客は、前年比0.9%増の94,075千人となり、前回に引き続き、過去最高を記録した。平成3年から連続して入込客数が伸びている。

全体としては、前年をやや上回る微増であるが、北九州地区は減少となっている。これは、平成15年における門司港レトロ地区の「海峡ドラマシップ」「九州鉄道記念館」、小倉城周辺地区の「リバーウォーク北九州」等の開業効果の反動が影響を及ぼしていると考えられる。

(3) 消費額の推移



	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
消費額 (百万円)	313,292	331,372	339,645	357,353	363,505	391,355	376,627	376,191	390,976	426,663
対前年比	105.5%	105.8%	102.5%	105.2%	101.7%	107.7%	96.2%	99.9%	103.9%	109.1%
指数	100.0%	105.8%	108.4%	114.1%	116.0%	124.9%	120.2%	120.1%	124.8%	136.2%

消費総額については、平成16年は4,266億円となり、前年より9.1%の増加となった。消費総額は、平成7年から一貫して増加傾向であったが、平成13年、平成14年は減少、平成15年・平成16年は増加となった。

また、平成16年の一人あたり消費額については、6,967円となった。

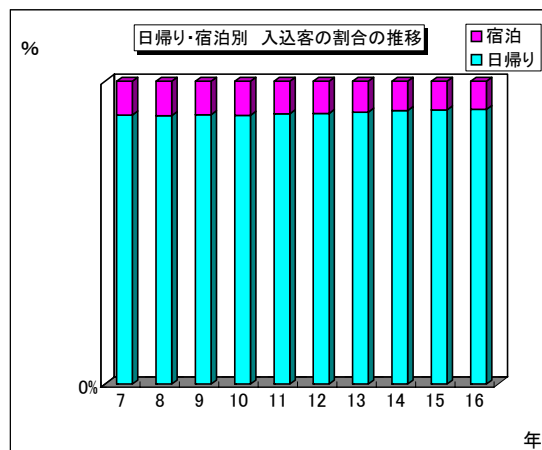
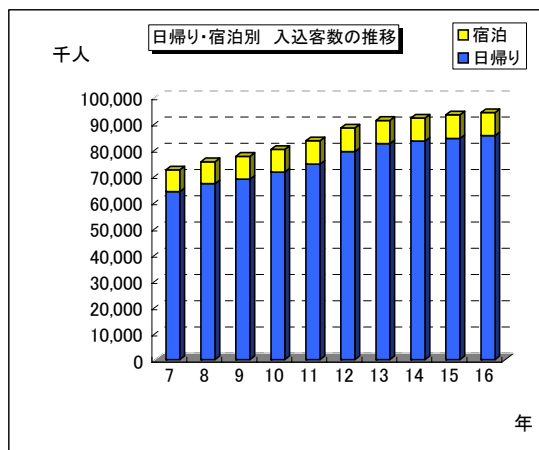
(4) 日帰り・宿泊別入込客の推移

(単位:千人)

	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
日帰り	64,000	67,036	68,705	71,469	74,483	79,219	82,268	83,254	84,178	85,305
対前年比	101.7%	104.7%	102.5%	104.0%	104.2%	106.4%	103.8%	101.2%	101.1%	101.3%
指数	100.0%	104.7%	107.4%	111.7%	116.4%	123.8%	128.5%	130.1%	131.5%	133.3%
構成比	88.8%	88.6%	88.9%	88.7%	89.3%	89.4%	89.8%	90.3%	90.5%	90.7%
宿泊	8,219	8,333	8,732	8,579	8,855	9,009	8,838	8,712	9,075	8,770
対前年比	103.6%	101.4%	104.8%	98.2%	103.2%	101.7%	98.1%	98.6%	104.2%	96.6%
指数	100.0%	101.4%	106.2%	104.4%	107.7%	109.6%	107.5%	106.0%	110.4%	106.7%
構成比	11.2%	11.4%	11.1%	11.3%	10.7%	10.6%	10.2%	9.7%	9.5%	9.3%

平成16年の日帰り客数は、前年比1.3%増の85,305千人になったが、宿泊客数は、3.3%減の8,770千人となった。県

全体の入込客数に対する日帰り客数と宿泊客数の構成比は、ここ数年9対1の割合で推移している。



(5) 県内・県外別入込客の推移

(単位:千人)

	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
県内	54,077	53,897	53,496	57,116	59,497	62,568	63,928	66,302	66,389	64,824
対前年比	101.0%	99.7%	99.3%	106.8%	104.2%	105.2%	102.2%	103.7%	100.1%	97.6%
指数	100.0%	99.7%	98.9%	105.6%	110.0%	115.7%	118.2%	122.6%	122.8%	119.9%
構成比	74.9%	71.5%	69.1%	71.4%	71.4%	70.9%	70.2%	72.1%	71.2%	68.9%
県外	18,142	21,472	23,941	22,932	23,841	25,660	27,178	25,664	26,864	29,251
対前年比	105.0%	118.4%	111.5%	95.8%	104.0%	107.6%	105.9%	94.4%	104.7%	108.9%
指数	100.0%	118.4%	132.0%	126.4%	131.4%	141.4%	149.8%	141.5%	148.1%	161.2%
構成比	25.1%	28.5%	30.9%	28.6%	28.6%	29.1%	29.8%	27.9%	28.8%	31.1%

平成16年の県内客の入込客数は、前年比2.3%減の64,824千人、県外客の入込客数は8.8%増の29,251千人となっ

た。ここ数年、県外客の占める割合は、概ね20%台後半から30%で推移している。

